

神戸市会だより

2020年 令和2年
5月 No. 205
発行：神戸市会事務局
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
☎(078)322-5853 FAX(078)322-6170
■神戸市会だよりは年4回発行します。
(次回は8月号)
広報紙KOBÉより抜き出ししてお読みください。
神戸市広報印刷物登録 令和2年度第18号-1
(広報印刷物規格 A-1類)

*ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。 [神戸市会](#) [検索](#)

令和2年度予算を可決しました

*

2月18日、令和2年第1回定例市会を開会しました。会期は6月26日までの130日間です。

2月議会では令和2年度予算および関連議案を中心に審議しました。(市長提出95件、議員提出2件、合計97件)

2月18日の本会議において、久元市長などから令和2年度予算および関連議案について説明を受け、2月25日・26日には、各会派の代表者が質疑を行いました。その後、予算特別委員会を設置し、局別にさまざまな観点から審査しました(主な内容は2～4面をご覧ください)。審査の結果、3月26日の本会議ですべての議案を可決しました。

令和2年 第1回定例市会 [2月議会]の動き

本会議	2月18日	<ul style="list-style-type: none"> 開会 会期決定 令和2年度当初予算などの議案の提案 令和元年度補正予算などの議案の提案・質疑 	本会議	3月18日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度補正予算などの議案の追加提案・質疑
	委員会	2月19日・20日		<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度補正予算などの議案の審査 	委員会
本会議	2月25日・26日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度補正予算などの議案の討論・採決 令和2年度予算および関連議案に対する会派代表の質疑 2・3面でご紹介 予算特別委員会設置 	本会議	3月26日	<ul style="list-style-type: none"> 人事案件の提案・採決 令和元年度補正予算などの議案の採決 令和2年度予算および関連議案の討論・採決 請願の討論・採決 議員提出議案の提案・採決
	委員会	2月27日～3月16日		<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度予算および関連議案、請願・陳情の審査 4面でご紹介 	本会議

◆6月議会は令和2年6月11日(木)から26日(金)までの予定です。

令和2年度当初予算

令和2年度予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の総額1兆8,592億円で、いずれも原案どおり可決されました。バランスのとれた街全体の発展をめざした神戸のリノベーション、子育て・教育施策の重点的な強化など、暮らしの質を重視した人にやさしいまちづくり、インフラ整備を加速し、安定した経済成長と市民所得の向上、持続可能な社会基盤の構築をめざした予算になっています。

令和元年度補正予算

国の補正予算を活用した防災・減災、国土強靱化や地方創生の拠点整備などを実施するとともに、公共施設の老朽化対策等の財政需要に対応します。また、新型コロナウイルス感染症への対応や、国の補正予算を活用した「GIGAスクール構想」の実現に向けた対応、就職氷河期世代への支援などに取り組みます。

【主な内容】

- 防災・減災、国土強靱化(道路改良(無電柱化)、橋梁整備(長寿命化)など) 32億2,500万円
- 学校施設の大規模改修(外壁・屋上防水等)、空調整備 31億600万円

可決した主な議案

- 神戸未来医療構想の推進(神戸大学国際がん医療・研究センターへの研究開発拠点の整備) 2億3,000万円
- 公共施設の老朽化対策等(公共施設等改修、システム改修) 83億4,300万円
- 新型コロナウイルス感染症への対応 4億円
- 学校環境の整備(「GIGAスクール構想」の実現に向けた対応など) 56億8,900万円
- 就職氷河期世代への支援 6,900万円

◆令和2年度予算に対する各会派の賛否一覧

○=賛成 ×=反対

件名	自	公	維	共	こ	つ	国	無 平野(華)	無 松本(し)	無 上原	無 村上	結果
一般会計/国民健康保険/市営住宅/下水道/新都市整備/自動車/高速鉄道	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決
市場/市街地再開発/介護保険/後期高齢者医療/港湾/水道	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
食肉センター/母子父子寡婦福祉資金貸付/駐車場/農業集落排水/公債/工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

自 自由民主党 公 公明党 維 日本維新の会 共 日本共産党 こ こうべ市民連合 つ つなぐ 国 共創・国民民主 無 無所属

4月7日に、兵庫県を含む7都府県に緊急事態宣言が発令されました。

神戸市内でも新型コロナウイルス感染症が拡大し、市民生活や神戸経済に大きな影響を与えています。市会としても、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組みます。

本会議での各会派の代表質疑から

2月25日・26日の本会議では、令和2年度予算とそれに関連する議案について、市長・副市長などの考えをたしました。その主な内容をご紹介します。(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。)

神戸市会 中継 検索



質問した議員

- 自** 自由民主党・・・上島寛弘・平野達司・坊やすなが
- 公** 公明党・・・北川道夫・藤本浩二
- 維** 日本維新の会・・・住本かずのり・高橋としえ

- 共** 日本共産党・・・森本真・松本のり子
- こ** こうべ市民連合・・・川内清尚・大井としひろ
- つ** つなぐ・・・浦上忠文

- 国** 共創・国民民主・・・諫山大介
- 無** 無所属・・・平野章三・上原みなみ・村上立真

※会派名は、令和2年4月13日現在



教育・子ども

教育へのICT導入による授業の多様化

目 平野(達)議員

◎学級閉鎖などでも授業が受けられる環境が今後必要になる。教員の勉強や多忙化対策のためにも、最新のIT技術を生かし遠隔授業を実施できないか。

▲本市では、優れた指導力を持つ教員の授業を教員向けに動画配信し授業力向上を支援している。遠隔授業は児童生徒が多様な意見に触れ、さまざまな体験を積むなど教育の質の向上に繋がると考えており、教員の資質向上や多忙化対策の点でも効果が見込まれるが、授業以外の日常的な児童生徒理解に基づく指導や評価も重要であり、遠隔授業がどの程度有効に活用できるかも含め、ICT学習環境整備の検討を進めたい。

教職員のハラスメントに対する取り組み

目 藤本議員

◎東須磨小学校の問題発覚後、教育委員会が市立学校園の全教職員を対象に実施したハラスメント調査で、ほぼ全員となる1万2000人から回答があった。その中で約1600人が「何らかのハラスメントがある(あった)」と回答しているが、この状況に対し、教育委員会としてどう取り組んでいくのか。

▲特に重大で悪質なものを順次調査し、厳しく対処していくが、多くの教職員からハラスメントの申し出があったことを大変深刻にとらえており、教員一人ひとりが組織風土や学校風土に

ついて自ら考えることができるよう、実践的な研修にも取り組んでいきたい。

教育委員会の組織風土改革

目 住本議員

◎地区統括官が学校園と監理室とのパイプ役となるようだが、そもそも学校籍の教職員やOBであれば、これまでのしがらみ、例えば先輩後輩とか、同期の間柄などが予想され、そのような人間関係の中で現場の報告が正しく伝わるのか。

▲地区統括官には校長・教育委員会事務局管理職の経験があり、両方の立場をしっかりと理解できる教職員籍の部長級職員を配置することが重要であると考え。学校の立場にも寄り添いながら、しっかりと学校法務専門官などに情報を伝えることで、学校との相互理解を促進し、監理室を中心とする新たな組織体制を円滑に機能させていく。

子ども家庭センターの対応

目 森本議員

◎子ども家庭センターにおいて真夜中に助けを求めた小学生を保護せず追い返す事案が発生した。有識者と原因を検証して対応策を講じるとのことだが、正規職員が配置されていればきちんと対応できたはずである。夜間対応の民間委託をやめ、しっかりと正規職員を配置すべきと考えるがどうか。

▲この度起きた事案については、極めて不適切な対応であると認識しており、このような事態が二度と発生しないよう原因は何かしっかりとした

検証が必要であると考え。有識者を交えた検証を早急に行い、原因を究明した上で速やかに対応策を講じてまいりたい。

生活困窮者に対する学習支援事業

目 諫山議員

◎生活困窮者に対する学習支援事業については、成果をきめ細やかに検証の上、制度の拡充が必要ではないか。また、この事業を補完するため、ひとり親世帯などに対して、課題解決型ふるさと納税を活用した、学習塾や習い事の費用を助成するスタディクーポンの導入を検討すべきではないか。

▲学習支援事業は成果を上げているが、子どもの貧困問題は社会全体で解決しなければならない。また、スタディクーポンは、一つの考え方ではあるが、いくつか課題もある。低所得世帯の学習機会の確保についてどのような方策が考えられるのか行内で連携し検討したい。

六甲アイランド高校における事故事案

目 平野(章)議員

◎六甲アイランド高校の事故事案に関する第三者委員会調査報告書を見たいじめ被害生徒が「先生がすべて悪いようになっており、悔しくてたまりません。本当に死にたかったのは私です。先生を返してください。」と語っている。これは重大事案であり調査すべきだ。

▲第三者委員会の調査報告書でもいじめの認定は一定されているが、いじめの重大事態としてのお申し出があれば、改めてどのような対応をするか法に基づいて考えたい。



まちづくり

都心エリアの再整備

目 坊議員

◎神戸市の三宮再整備事業と兵庫県元町山手地区再整備事業の十分な連携がとれていない。魅力と活力のある都心の再整備に繋げるため、県市が連携し、三宮から元町エリアを一体的に整備する再整備計画を新たに策定し事業を進めていくべきではないか。

▲県市が連携を深め共同して再整備に取り組むことは重要である。三宮から元町に至るエリアにおいて、県庁舎等再整備基本計画や市役所本庁舎2号館再整備基本計画など、都心の各プロジェクトがより一体的で整合が図られたものになるよう、改めて協議・調整を行い魅力と活力ある都市の再整備に取り組んでいきたい。

神戸夜市^(※)による夜のにぎわい作り

目 川内議員

◎神戸観光は夜に楽しむべき目玉がなく、宿泊する観光客は2割にとどまっている。神戸の夜の観光の目玉として、既存の商店街の活性化の観点からも地元商店街を巻き込み、神戸夜市のような仕掛け作りが必要ではないか

▲神戸のにぎわい作りのためにあらゆる方策を考えなければならない。その中に夜市が含まれることは間違いない。他の地域の事例を踏まえ、既存の取り組みの拡大などの方策を商店街や



※夜市…夕方から夜にかけて営業する屋台、露天、雑貨屋などが集まったもの。

◀にぎわう元町商店街の夜市

市場の皆さんと相談したい。今まで開催していない場所での開催は、回遊性を増やすなどの条件が重要なので、さまざまな可能性を模索し、具体的な取り組みを強化したい。

地下鉄海岸線における副駅名の活用

目 村上議員

◎地下鉄海岸線の経営改善には、乗降客数のさらなる増加が不可欠である。駒ヶ林駅の「三国志のまち」のように、駅周辺の特色を示すことができ、地域活性化や乗客数増加に繋がる副駅名を積極的に活用するべきと考えるがどうか。

▲副駅名の設定は、駅名が不明確となることを避けるため慎重な検討が必要である。海岸線の乗客が増え、沿線の活性化につながるよう、引き続き地域の皆様、事業者、区役所などと連携して取り組んでいく。



防災

新型コロナウイルスへの対応

目 坊議員

◎新型コロナウイルスの感染者が拡大し、市民は不安を抱えている。市民の不安を軽減する取り組みや感染者発生時の対応を伺いたい。

▲市民に予防方法を周知するとともに24時間、多言語対応の相談窓口を設置しており、医師会、民間病院協会、感染症指定医療機関などと診療体制などの調整を行っている。検査については、神戸市環境保健研究所が最大48検体を検査できる体制を整えており、患者発生時には速やかに情報提供を行う。拡大防止のため感染源や濃厚接触者の特定に努め、濃厚接触者は健康観察し発症時の早期受診を勧めるなど感染拡大防止のため全力で取り組む。

フェーズフリーの概念を取り入れた防災力向上

目 北川議員

◎平常時、日常利用しているものやサービスが災害時にも適切に使えらるフェーズフリーの概念を神戸市の防災減災対策や市役所の再整備にも取り入れ、市民にも啓発を図る必要があるのではないか。

▲フェーズフリーの観点は重要であり、この考え方を取り入れ、防災減災対策や市民の皆様への啓発をしていきたい。市庁舎では、大規模災害時に近隣の避難所の状況により、1号館1階ロビーを緊急避難所として開放するとともに、2号館の再整備基本計画には水・電源の確保、災害備蓄倉庫の整備などを盛り込み、災害時に必要な防災機能の確保を検討している。

新型コロナウイルス対策

目 高橋(と)議員

◎WHO神戸センターへ運営支援として県市で年間約4億円を拠出しているが、今回の新型コロナウイルスという有事の際にこそ、市民に安心を与えるための情報発信に取り組むよう、強く求めるべきではないか。

▲感染症対策はWHO神戸センターの所管ではないが、WHO本部等と連携を取り、各国の患者発生状況や対策に関する最新情報を、日報形式で県市の感染症対策部局へ提供いただいている。今後、WHO神戸センターとのさらなる連携強化に努め、平時有事を問わず、いただいた情報を最大限活用しながら、市民へ安心を与えるような情報提供に取り組んでまいりたい。



暮らし

ガラス瓶のリサイクル

目 大井議員

◎当市のガラス瓶の資源化量は、依然として全国平均に遠く及ばない。ガラス瓶の資源化推進には、缶・ペットボトルと分ける単独収集が重要である。令和2年度に排出実態調査が予定されているが、ガラス瓶の単独収集について今後どのように取り組むのか。

▲令和2年度は、抽出した対象ステーションで排

出実態調査を行い、排出量や排出状況などのデータを収集する。その調査結果をもとに、市民への意見聴取もを行い、令和4年度のガラス瓶の単独収集について、費用対効果を踏まえて、市民の方々から理解が得られるような方策を十分検討したい。

イノシシ牧場併設のジビエ処理・加工施設提案

目 上原議員

◎イノシシを被害が多い夏までに捕獲し、脂

が乗り価値が出る冬まで飼育するイノシシ牧場を処理加工場に併設するほか、神戸ウイン猪といったブランド化など有害鳥獣対策を革新的に進めることが、農村部の新たなビジネスの創出や移住促進に繋がるのではないか。

▲イノシシ肉のジビエとしての利用には、衛生面、加工処理技術、販路確保などの課題があるが、他都市のモデルも調べながら新年度予算において研究していきたい。



行財政

労務職の処遇見直し

目 上島議員

◎神戸市の労務職(作業員、用務員など)は、民間に代替可能であり高待遇である。昨年の決算特別委員会において、政令市中位程度の給与水準とする必要があり給料表の見直しを行う旨の答弁があったが、実現時期、財政効果について伺いたい。

▲引き続き業務効率化や時間外勤務の解消に取り組むだけでなく、労務職給料表の見直しを行わざるを得ないと考え、昨年から神戸市従業員労働組合と交渉を行ってきた結果、令和2年4月から労務職給料表を見直し、目標とする政令市中位程度の給与水準を達成できる見込みである。全市で年間約10億円の財政効果を見込んでいる。

SDGsの理念に沿った政策立案の検証

目 北川議員

◎持続可能な経済社会システムを実現する都市・地域づくりを目指すSDGsの基本理念に基づき、SDGsの目標年の2030年に向けて数値

目標を検討するとともに、SDGs未来都市の採択を目指すなど、神戸市の政策立案がSDGsに沿ったものになっているか検証することが必要と考えるがどうか。

▲SDGsの理念や考え方は市の方向性とも合致しており、その考え方を各行政分野に取り込んでいくことが重要である。令和2年度に策定する2025ビジョンは、内閣府の「地方創生SDGsローカル指標リスト」を基に神戸独自の指標を設定するなど、SDGsの理念に沿った計画となるよう検討したい。

※SDGs
「持続可能な開発目標」のことで、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された2030年までの国際目標。

図書館など社会教育施設の市長部局への移管

目 松本(の)議員

◎社会教育施設は政治的意図から独立し、中立の立場で教育行政を遂行する教育委員会が所管してきた。市長部局へ移管されれば、中立性が妨げられ、教育との連携も希薄になる可能性がある。図書館や博物館などの社会教育施設は市長

部局に移管すべきではないと考えるがどうか。

▲法改正に伴う文部科学省からの通知等で、社会教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映、学校教育との連携等に留意するよう求められている。社会教育の政治的中立性等について留意事項等を踏まえ、文化スポーツ局において社会教育施設を適切に運営していきたい。

市民参画推進局の再編

目 浦上議員

◎市民参画推進局は一人一人の市民が主役であるというシンボルであった。世の中を支えているのは「お互い様」という気持ちであり、私は同局を「市民参画お互い様局」にしてはどうかと以前から提案してきた。そのような同局が無くなることは非常に残念に思うがどうか。

▲市民参画推進の重要性は今も変わらず、市役所に根付いてきた一方、無縁社会といった社会風潮が広がるなど環境が変化している。これに対応するには、市民参画推進を新たな発想で縦割りではなく全ての局で行うと同時に、つなぐラボによって各局の努力をつないでいくことが適切であると考えている。

予算特別委員会の質疑から

予算特別委員会では、令和2年度予算と関連議案について審査しました。委員会では3つの分科会を設け、2月27日から局ごとに審査した後、3月12日に総括質疑を行いました。
(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。)

予算特別委員会(議員67名で構成。2月26日から3月26日まで設置)
委員長 平井真千子 副委員長 山本のりかず・山本じゅんじ・藤本浩二

質問した議員

- 自 自由民主党……河南ただかず
 - 公 公明党……沖久正留
 - 維 日本維新の会……さとうまちこ
 - 共 日本共産党……味口としゆき
 - こ こうべ市民連合……伊藤めぐみ
 - つ つなぐ……香川真二
 - 国 共創・国民民主……諫山大介
 - 無 無所属……平野章三・上原みなみ・村上立真
- ※会派名は、令和2年4月13日現在

新型コロナウイルスに対する市独自の税制措置

自 河南議員

◎市内の中小企業や飲食店が打撃を受ける中、市民や事業者に対して固定資産税の納入猶予など市独自の税制措置を講じるべきではないか。

▲「納税の猶予制度」を用意しており、今回の新型コロナウイルスを原因として事業損失が出た場合などは、その対象になると考えられる。また、通常の場合必要な担保についても、事業継続に支障が出るものについては、原則担保を徴しない方針で臨むこととしており、今後分かりやすい広報に努めたい。

市職員の不祥事の原因分析

公 沖久議員

◎市職員の事故・事件・不祥事が相次いでおり、抜本的な再発防止策を講じ、市民の信頼回復に努めなければならない。専門家を入れて徹底した原因究明を行い、組織体制を含め具体的な方策を示すべきだと考えるがどうか。

▲不祥事の続発は遺憾であり、市民の信頼回復に向け「神戸市役所改革方針」にスピード感をもって取り組むとともに、行財政局に配置した現職警察官の法務監察専門官など外部人材も活用しながら、事件や事故の未然防止に努める。

迅速かつ適切な情報発信

維 さとう議員

◎新型コロナウイルスの感染が拡大する中、市内の状況を分かりやすく把握できるよう表やグラフ等で可視化するなど、市民の感染拡大防止に繋がる情報に関して、迅速かつ適切な情報発信に取り組むべきではないか。

▲市民に適切な情報を提供することは極めて重要であり、広報のあり方についても、そのときの情勢に応じて見直すべきと考えている。今後とも他都市の例や様々なご指摘も踏まえて、市民に最もわかりやすく必要な情報の提供に努めてまいりたい。

公立学校園の4月再開

共 味口議員

◎新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、公立学校園は臨時休業となっているが、子ども

と保護者の置かれている状況にも配慮し、4月からの学校再開を、公衆衛生に詳しい感染症の専門家などの知見を踏まえ判断し、準備にかかるべきではないか。

▲公立学校園の再開時期については、引き続き国の方針や動きを注視するとともに、神戸市保健所をはじめ専門機関からのご意見もいただきながら、市内の患者発生状況等を勘案し、適切に判断をしていきたい。

教育の再生

こ 伊藤議員

◎教育の再生には、学校のガバナンス強化も大事だが、校長がマネジメント力を発揮し、風通しのよい教育現場を作れる体制に立て直すとともに、子どもたちの心もしっかりと立て直す取り組みが必要と考えるがどうか。

▲今回のガバナンス強化は、ハラスメント等の

防止などコンプライアンスの徹底をはかり、校長のマネジメント力を発揮しやすくする取り組みであり、学校現場や教職員を支援するための取り組みであることをご理解いただきたい。

複数担任制の導入

こ 香川議員

◎東須磨小のハラスメント事案に関する報告書では、原因は加害教員の個人的資質によるところが大きいとされている。教員の資質向上のため、学級内の悩みを共有し、解決策を共に考えることができる複数担任制を導入すべきではないか。

▲複数担任制の導入は国の大幅な定数改善なしでは難しいが、同室複数指導などを研究・活用し、悩みを共有できる体制を構築することで教員の指導力を向上させ、子どもの健やかな成長を促進できる学校づくりに取り組みたい。

要望事項

3月26日の本会議で、平井真千子予算特別委員会委員長から、市長に対し要望を行いました。

●新型コロナウイルス対策について

国や関係機関と密接に連携し、相談体制や検査体制の充実強化に努めるとともに、市民に対しては、感染症患者のプライバシーに配慮しつつも、適切な情報発信を行われたい。また、経済への影響を最小限に抑えるため、融資制度の充実などの市内事業者に対する経済支援に取り組まれたい。

●持続可能なまちづくりについて

地下鉄海岸線沿線の活性化については、駅周辺のにぎわいづくりとともに定住人口の増加を図られたい。北区・北神地域については、北神急行線の市営化や市バス62系統の新設を活用し、活性化に取り組まれたい。また、私道における街灯の拡充を図るとともに、防犯カメラの設置については、市民の意見を反映されたい。さらに、新たな公共交通システムの導入可能性の検討や、地域コミュニティ交通支援の拡充など、交通利便性を高める取り組

みを進められたい。

●神戸経済の活性化について

大阪・関西万博などからのインバウンド需要を取り込むため、陸海空の交通結節機能を強化されたい。また、ウォーターフロントへのシンボル施設の設置や、六甲山の有効活用と開発を進めるなど、まちの回遊性を高める取り組みを進められたい。

●子育て支援の充実について

こどもを虐待から守るため、関係機関との連携を強化するとともに、こども家庭センターや区役所の体制の充実を図られたい。また、待機児童対策として、保育士確保を進めることはもとより、在宅育児への経済支援を検討されたい。

●教育行政について

市立小学校における職員間ハラスメント事案の調査報告を踏まえ、風通しのよい人事政策に努められたい。また、スクールカウンセラーやスクール・サポート・スタッフなどの配置により、学校現場の体制の充実を図られたい。

一般質問

個々の議員が個人の立場や観点で質問しました。※会派名は、令和2年4月13日現在

山口由美議員(自由民主党)

- ① 食都神戸について
- ② 教育行政支援について
- ③ 駅前のリノベーションについて

しらくに高太郎議員(自由民主党)

- ① 子育て支援施策について
- ② 介護人材の確保について
- ③ OB職員とのコミュニケーションについて
- ④ 新垂水図書館の整備について
- ⑤ 道路交通網の早期整備について
- ⑥ 専門学校に特化した市内就職の促進について

門田まゆみ議員(公明党)

- ① 新型コロナウイルス感染症による経済的損失の対策について
- ② 市内小学校ハラスメント事案について
- ③ 見守りカメラの設置について
- ④ 子宮頸がんワクチン接種助成の通知について

外海開三議員(日本維新の会)

- ① 新型コロナウイルスと危機管理対応について
- ② 磯上公園のあり方について
- ③ キャッシュレス決済の推進について
- ④ 六甲山の活性化について
- ⑤ 市ホームページにおける外国語対応について
- ⑥ 六甲アイランドの活性化について

松本のり子議員(日本共産党)

- ① 新型コロナウイルス感染症対策について
- ② 認知症対策について
- ③ ひきこもり対策について
- ④ 個人情報の保護について

たなびき剛議員(こうべ市民連合)

- ① 神戸のスポーツ振興について
- ② 子どもの体力向上について
- ③ 新垂水体育館の整備について

小林るみ子議員(つなぐ)

- ① 阪神淡路大震災から25年、残された課題について